

# 第一回千曲市総合運動公園基本構想策定協議会 会議録

## 1. 会議概要

---

(1) 開催日時：令和3年7月13日（火） 13：30～15：00

(2) 開催場所：千曲市役所 3階 301大会議室 AB

### (3) 出席者

協議会委員：佐々木委員、小沼委員、林委員、北村（勝）委員、渡辺委員、北村（早）委員、小出委員、塚田委員、小林委員、高村委員、新井委員、早志委員、児玉委員、山崎委員、清水委員、千曲建設事務所 高野企画幹兼整備課長、千曲河川事務所 浮田副所長、湯本建設部長、島田教育部長、齋藤企画政策部長、荒川健康福祉部長、竹内市民環境部長

事務局：滝沢スポーツ振興課長、相沢スポーツ振興係長、小山施設整備係長、吉川氏、宮澤生活安全課長、中山市民生活係長、小岩都市計画課長、山本計画係長、轟施設係長、長門企画主査、池田主任、まちづくりアドバイザー 松林氏、信州地域デザインセンター 征矢氏  
株式会社KRC（小林、渡利、藤岡）

### (4) 次第

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 自己紹介
- 4 議事

(1) 千曲市総合運動公園基本構想策定協議会会長選出について

(2) 千曲市総合運動公園基本構想の策定について

資料1

(3) 今後の進め方について

資料1

- 5 その他
- 6 閉 会

### (5) 提示資料

- ・ 第一回千曲市総合運動公園基本構想策定協議会 第一回協議会 送付資料一覧表
- ・ 第一回千曲市総合運動公園基本構想策定協議会 次第
- ・ 千曲市総合運動公園基本構想策定協議会委員名簿
- ・ 資料1 『千曲市総合運動公園基本構想』策定について
- ・ 資料2 千曲市総合運動公園基本構想策定方針（案）
- ・ 資料3 千曲市総合運動公園基本構想策定方針（案）に対する意見募集結果
- ・ 資料4 千曲市総合運動公園基本構想策定協議会設置要綱
- ・ 資料5 千曲市総合運動公園基本構想策定協議会部会名簿（案）

- ・資料6 千曲市総合運動公園基本構想策定協議会幹事会名簿
- ・資料7 戸倉体育館周辺活用方針の検討（報告書）
- ・総合運動公園基本構想策定業務（R3～R4年度スケジュール）
- ・別紙1別紙2 かわまちづくり支援制度の概要
- ・かわまちづくり支援制度 提案図（千曲市・水辺の学校）
- ・サウンディング調査・官民連携に関する補足資料

## **2. 市長挨拶（要約）**

---

どうも皆様こんにちは。市長の小川修一でございます。本日はご多忙のところ第一回千曲市総合運動公園基本構想策定協議会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。また、委員の就任をご快諾いただきまして重ねて御礼申し上げます。千曲市では昨年度より体育館やサッカー場がある戸倉体育館周辺および平成27年に建て替えをしました白鳥園周辺の施設の在り方について検討を始めました。本年度より具体的な構想を策定するにあたりまして協議会を設置いたしましたが、関係する団体の皆様や今回公募により応募をいただいた皆様によって構想のアイデアや現実的な議論をしていただき、将来市民が誇れる総合運動公園の構想をご協議いただきますようお願い致します。戸倉体育館周辺におきましては体育館施設の老朽化や旧名月荘跡地の利用が課題となっております。また白鳥園におきましては新白鳥園の建物以外の未利用地の活用の検討が必要となってきております。他にはこの両地区の右岸側の千曲川河川敷を利用した国土交通省のかわまちづくり支援制度の活用も千曲市河川事務所様のご教授をいただきながら検討して参りたいと考えております。また市の第二次スポーツ推進基本計画では「スポーツを推進し、スポーツの価値を市民に届けるためにスポーツを「する」・「みる」・「ささえる」この場をしっかりと提供すること」、また「市民のスポーツに対する趣向を汲み取ったうえでスポーツに接するきっかけづくりを行う」としております。このようなことから利用者ニーズに合わせた施設整備に向け、市民の皆様やスポーツ団体の皆様の声を最大限取り入れながら基本構想を策定し、さらには地域資源を活用した市民の健康増進、交流人口の増加にも大いに期待するところであります。千曲市には戸倉上山田温泉と千曲川の豊かな自然があり、スポーツと健康の聖地としてのポテンシャルが存在すると考えております。運動公園を含めた千曲市ならではの魅力あるまちづくり計画を本協議会で十分ご議論していただきまして2ヵ年という長丁場になりますけれども皆様の建設的な議論を合わせてお願い申し上げます。開会にあたっての挨拶と致します。本日は宜しく申し上げます。

## **3. 議事に関する質疑応答**

---

### **（1）千曲市総合運動公園基本構想策定協議会会長選出について**

千曲市総合運動公園基本構想策定協議会設置要綱第3条第4項の規定に基づき、委員の互選により、千曲市総合運動公園基本構想策定協議会の会長に佐々木委員、副会長に小林委員を選出。以降、協議事項は佐々木会長が進行。

### **（2）千曲市総合運動公園基本構想の策定について**

<資料1 P1～P6 説明後>

**佐々木会長**：これまでの経過、策定の背景、協議会の役割、検討の主体と対象範囲、現在予定されている事業を戸倉体育館エリアと白鳥園エリアで説明していただいた。ここまでで質問はあるか。

### (3) 今後の進め方について

<資料1 P7～P12、資料5 説明後>

**佐々木会長**：全体を通してご意見ご質問はあるか。また、所属する部会の変更あるいは掛け持ちについて希望はあるか。

**浮田委員**：千曲川河川事務所でかわまちづくりの支援させていただきたいと思っているが、様々な分野がある。スポーツという面では、上田市でカヌー、長野市飯山市でもカヌー・サイクリングが検討されている。公園的利用では、キャンプやバーベキューなども考えられる。まちづくりでは堤防のランニングコースなどもある。各部会に積極的に参加させていただきたい。サウンディング調査は民間提案というところが特によいと思う。よくあるのが公園をつくって、維持管理されず利活用されないということがある。基本的に川の中は国有地で営利目的の行為はできないが、河川空間のオープン化という規制緩和があるため、川の中も民間の提案が可能である。

**→事務局**：部会については協議会設置要綱第5条第8項に「部会長は、必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求めることができる。」とあり、今後河川事務所様にお声をかけながら進めていきたい。

**児玉委員**：ステークホルダーとはどういう意味か。

**→事務局**：端的に言えば、関係する方々という意味である。

**児玉委員**：策定方針の基本理念にある「スポーツ振興と温泉」については戸倉地区では大事になってくるため、策定ポイントのなかでももっと強調した方がよいのではないかと。部会についてもスポーツ施設部会にスポーツ関係者というふうに分けてしまうとスポーツ振興と温泉という部分が薄れてしまうのではないかと。例えば温泉・観光の関係者がスポーツ施設部会に入るなどした方がよいのではないかと。

**→事務局**：様々な関係者が1つの部会に参加できるようにということでは、3部会合同部会を開催することで様々な意見を取り入れられる機会を設ける。また、場合によっては部会が進むなかで必要な関係者の参加を依頼するなどして部会ごとに調整していきたい。

**新井委員**：第三次総合計画の進行状況を教えていただきたい。

**→事務局**：総合計画は本年度中に策定される。来年度以降は第三次総合計画を踏まえて進めていかなければいけない。策定された際には委員の皆様にもご説明する。

**新井委員**：イメージでは本年度は想いや意見・アイデアを出し、来年度は総合計画と整合させながら構想をつくっていくと考えているがどうか。

**→事務局**：本年度中にある程度方向性を決めて総合計画にも反映させていきたい。

**新井委員**：この協議会の内容が第三次総合計画に反映されるという意味か。

**→事務局**：協議会、部会で出てきた意見については都度報告していく。そのまま総合計画の審議会にいくかはわからないが進捗はしっかりと受け止め並行して進めていく。来年度は策定された総合計画に則して進めていかなければいけない。

- 新井委員** : 上位計画である総合計画を踏まえて基本構想を策定するのではなく、基本構想の策定も第三次総合計画と同時進行で進めていき、こちらの協議内容が総合計画の中に反映されると考えてよろしいか。
- 事務局** : 意見は受け止め、進捗を報告していくが、協議内容が反映されるかはわからない。
- 新井委員** : サウンディングでの成功事例等があれば教えていただきたい。
- 事務局** : 長野市でも設計企画段階から運営団体が入って取り組んでいる事例がある。今後身近な事例を紹介し、具体イメージを共有していければと思う。
- 新井委員** : サウンディングの具体的な内容（事業者名等）は協議会で公表されるのか。
- 事務局** : サウンディングの具体的な要綱等は決まっていない段階であるが、事業者名の公表については、事業者によって公表してもよいかどうかは異なるため、現段階では協議会で必ず公表できるとはいえない。ただ、実際どういった業者が入ってくるかにより変わってくる部分もあるため、可能な限り情報は公開していく方向で検討していく。協議会でもサウンディングの手法について協議できればと考えている。
- 新井委員** : 必ずしもすべての情報をオープンにするのがよいとは限らないと思うが、なるべく情報はオープンにしていだければと思う。
- 佐々木会長** : サウンディングについてはどういうものか理解できていない委員も多いと思うので、次回事例を交えて説明していただければと思う。
- 佐々木会長** : 市のスポーツで盛んなものはあるか。また要望はあるか。
- 塚田委員** : 策定案を読んでこういうふうにしたほうがいいことや現状の改善点はあるが、具体的な内容はスポーツ振興課に伝えている。盛んなスポーツは、お年寄りを含めて市民のみんなが簡単にできるという意味ではマレットゴルフである。今後、千曲市はお年寄りも若い人もできるスポーツを挙げていきたい。
- 清水委員** : 「する」スポーツ・「みる」スポーツ・「ささえる」スポーツがあり、先程おっしゃったのは「する」スポーツである。「みる」スポーツ「ささえる」スポーツでは、千曲市をホームタウンとしている信州ブレイブウォリアーズがあり、盛んだと思う。